

## 共通開講科目(アオッサ) シラバス入力票

項目	入力欄
科目名/提供大学名	日本文化の歴史
科目名(英文)	History of Japanese culture
対象学年	
開講時期	後期
単位数	各大学の扱いに委ねる。
科目区分	原則として、選択。
授業形態・開講形態	講義の後および電子メールにて質問を受け付ける。
担当教員名	小谷 正典
オフィスアワー	講義の後に質問を受け付ける。
教員メールアドレス	福井工業大学学務課のメールアドレス kyomu-u@fukui-ut.ac.jp 科目担当者への転送に時間を要するため、利用の際は注意をすること。
概要	本講座で学ぶ文化は、いわゆる過去の「文化財・文化遺産」を中心とした文化ではなく、現在の私たちの生活や考え方のなかに伝えられている文化そのものです。私たちの生活や考え方のなかにある日本の文化の特性を学ぶとともに、外来の文化が日本の社会にどのように受容され発展してきたかを学びます。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	自分たちの周囲で生起している出来事、周囲にある事物や習慣は、その全てが歴史的に蓄積されてきた文化であることを考える姿勢を育てることを目標とします。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input checked="" type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	稲作、福井県、福井市、生活暦、白山信仰、令制国など、福井県での生活と関連の深い事柄についての理解を深める。 周囲にある事物や起こる出来事などについて、積極的に関心を持ち歴史的に考えようとする姿勢を持つこと。 専門科目を学ぶにあたり、まず、その分野が歴史的にどのように形成されてきたか、どのような歴史的に役目を持っているかを考える姿勢を持てるようになること。
授業計画・授業内容	1 衣・食・住に、それぞれ例を引きながら生活文化とは何かを考える 2 稲作・米食と日本文化、米と他の穀物の比較 3 福井県・福井市の成り立ち、大正期福井市地図の読図、福井空襲と福井震災 4 戦後史と福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学の歴史(概史) 5 歴史学の三分野…歴史学・考古学・民俗学について、人類の文化と時代区分について「五行思想」との関係) 6 アジアの基本的文化思想(1)…「五行思想」「中華思想」 7 アジアの基本的文化思想(2)…「四神思想」、「五行・中華・四神」思想と現代とのつながり 8 生活文化の基本としての「暦」(1)…陰陽・五行・十干・十二支など 9 生活文化の基本としての「暦」(2)…節句、太陰暦、太陽暦など 10 神祇信仰 11 白山信仰 12 埋蔵文化財 13 仏教の受容とその後 14 キリスト教の受容とその後 15 令制国と都道府県、「国産品」 16 試験
授業方法	講義形式
キーワード	生活文化
教科書	『日本文化の歴史』 尾藤正英 岩波書店(新書) 780円+税
参考書	なし
評価方法・評価基準	報告書提出、通常試験、出席状況 (福井工業大学の受講生についてはノート記録の提出)
関連科目	
履修の要件	報告書提出、通常試験、出席状況
必要な事前・事後学習	報告書作成に関する調査・報告種の提出、(福井工業大学の受講生はノート記録の作成)
その他・注意事項	継続した講義内容であるので欠席しないこと。